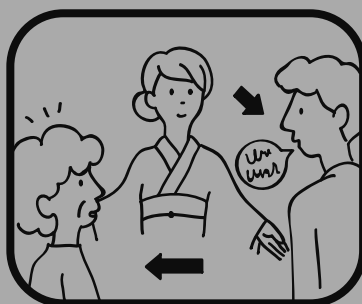
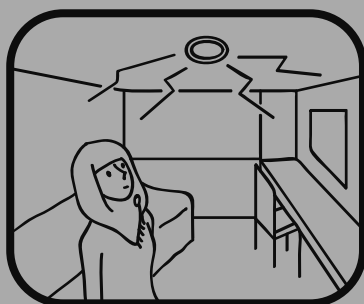
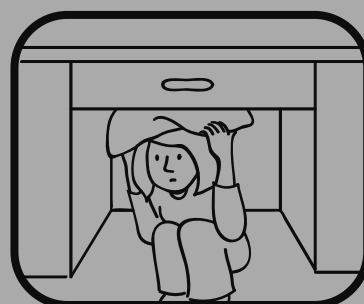


訪日外国人旅行者の宿泊時における

災害時初動 対応マニュアル

Emergency evacuation manual

改訂版



はじめに

2019年の訪日外国人旅行者数は、3,188万人と過去最高を記録しました。中国地方を訪れる外国人旅行者の延べ宿泊者数は2年連続で200万人泊を超え、過去最高を更新しています。

このように多くの外国人旅行者が訪れる中で、万が一の災害時にも安全が確保され、安心して行動できる環境の整備を進めていくことが急務となっています。

最近における大規模な自然災害としては、平成28年4月の熊本地震や平成30年9月の北海道胆振東部地震等があげられます。

中国地方においても平成26年8月に広島土砂災害が発生し多くの犠牲者が出たほか、平成28年10月には、鳥取県中部地震が発生し家屋の損壊等の被害が生じています。また、最近では、平成30年6月28日以降の梅雨前線の影響により発生した平成30年7月豪雨災害により、尊い命と多くの財産が失われました。

そこで、災害時に訪日外国人旅行者の安全を確保し、かつ安心して行動していただくためには、訪日外国人旅行者自身が日本を訪問するにあたって、災害と発生時の行動に関する予備知識を習得していただくことはもとより、ホテル・旅館をはじめとした観光産業に携わる皆様方の支援も重要となります。

観光産業に従事される皆様方には、非常時における避難誘導や情報提供がお客様に対する「おもてなし」の一部として、このマニュアル(改訂版)を参考に自社における体制を見直し、災害対応の準備に活用していただければ幸いです。

災害時初動対応マニュアル全編は下記アドレスをご参照ください。

<https://www.tbmlit.go.jp/chugoku/content/000044149.pdf>